

「げんごのげん」

作・演出 北村想

PROJECT NAVI PRESENTS 25

松本 8月29日・9月4日

各府県 8月20日・22日

東京 9月2日・13日

伊丹 9月18日・20日

仙台 10月9日・10日

シアターホール(仙台演劇祭92参加)

CAST

桂透たけし

三森出程

森川知

木村出羽

田中ゆかり

徳盛和川

大塚誠区

田中夕美

山上保美

長嶋田原

大塚誠区

三三郎(豊田演劇)

陣田平六

柿十郎

(sumazukino ishi)

三三郎(豊田演劇)

STAFF

(舞台美術)北村想 近藤朋文
 (朗読)石原福雄 安藤昇益 小木曾千倉
 (音楽)藤田赤目
 (作曲)ノヤママカコ
 (衣裳)田中ちさ
 (衣裳デザイン・製作)石田佳代子 倉地聡美
 (小道具)金原祐三子
 (舞台監督)永井優二
 (舞台監督助手)近藤朋文 松本浩
 (宣伝美術)下東英夫
 (イラスト)あおきひろえ
 (写真)柏本勝成
 (制作)高橋たかこ 松本香織
 (協力)劇団21世紀FOX 津村卓 小堀純
 (企画・制作)プロジェクト・ナビ



プロジェクト・ナビ

〒464 名古屋市千種区今池南11-13
 TEL 052-731-2867 FAX 052-731-2845



伊丹AI・HALL自主企画VOL.40

9月18日(金)・19日(土)・20日(日)

開演 7時 3時/7時 3時
(開場は開演の30分前)

伊丹AIホール

〒0727-82-2000(JR伊丹駅前)
(主催)伊丹市

全席指定

前売 3,300円 当日 3,500円

発売開始7月25日(土)

電話予約・前売券のお求めは
チケットぴあ ☎06-363-9999
チケットセゾン ☎06-308-9999
AIホール ☎0727-82-2000



「けんじのじけん」といけん 在間ジロ

『けんじのじけん』というこの回文もどきのタイトルによる今回の作品は、つまりこういう話である。

けんじ先生という田舎のインテリがいる。作者がどう逃げを打とうと、これは宮沢賢治をモデルにしているということはのっけから分かる。けんじ先生は鉄砲なんぞを持ち出してきて、次の作品の構想に余念がない。とはいっても、空に向けてぶっばなしているだけなんだけど。

しかし、よく見ているとは一、これは賢治のあれとあの童話について、その創作のインスピレーション

のようなものを、虚構のうちに語っているのだと分かる。ここに一通の葉書が来る。山猫からの葉書である。これはもう賢治の童話『どんぐりと山猫』だと分かる。こういうふうにして、賢治の童話のモチーフになった〔じけん〕らしきものが随所に折り込まれて物語は進展していくのだが、この物語の面白さは実はそういうところにあるのではない。けんじ先生はインテリであり作家であるが、発明家であり、夢想家であり、野心家でもあり、そのうえ、ピカレスクなのである。

◆キャスト(登場順)

けんじ	小林正和
郵便配達員	高田サブロー
一郎	佳梯かこ
新沢の久吉	千葉盛広
山猫	寺十 吾
別当	神戸 浩
団栗1	田中ちさ
2	金原祐三子
3	田辺文美
4	中島由紀子
5	段上和美
団栗隊長	木村庄之助
その他の団栗(名古屋公演のみ)	



七つ森の十郎	田口直美
カッコウ1	山本美奈子
カッコウ2	永井 愛
猫洞のさよ子	橋口友里
鼠峠の女	久川徳明
病気の娘	中島由紀子
看護婦	段上和美
警察署長	田中ちさ
東京からきた女	寺十 吾
	田辺文美
	金原祐三子
	神戸 浩
	金原祐三子



ちょっとした悪党に描かれているのだ。だから物語は、まるでマルクス・ブラザースの喜劇のように、アナキックに描かれていく。こんなふうに賢治を描いてみせた賢治もはかつて見たことがない。だって悪党なんだから。賢治にあった何か近寄りた部分が見事に払拭されて、人間臭い賢治がキャッキヤとお道化ながら姿を見せて去っていく。これはそういう賢治の、いや、けんじ先生の日常を描いた突風のような作品である。

(ありまじろ 評論家)

「けんじのじけん」も本になります。8月上旬刊行予定。是非劇場でお求め下さい。

「インシデンタル・ギフト」(劇団21世紀FOX今秋公演の新作)を併録して、1冊で2倍楽しめます。



プロジェクト・ナビ
〒464 名古屋市千種区今池南11-13
☎052(731)2867 FAX 052(731)2845

